2026年3月期　第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2026 年 2 月 5 日

上場会社名	オムロン株式会社		上場取引所　東
コード番号	6645		URL https://www.omron.com/jp/ja/
代表者	役職名	代表取締役社長 CEO	
	氏名	辻 永 順 太	
問合せ先責任者	役職名	執行役員 グローバル理財本部長	TEL　(075)344-7070
	氏名	田 茂 井 豊 晴	
配当支払開始予定日		―	

決算補足説明資料作成の有無　：有・無
決算説明会開催の有無　：有・無　（投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	614,288	6.0	33,855	△5.7	26,450	65.5	14,338	99.6
2025年3月期第3四半期	579,698	△4.7	35,904	35.1	15,985	△49.2	7,183	△8.5

（注）四半期包括利益　2026年3月期第3四半期　49,935百万円　（113.9%）　2025年3月期第3四半期　23,343百万円　（△33.5%）

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	72.87	―
2025年3月期第3四半期	36.47	―

（2）連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,448,009	972,332	808,254	55.8
2025年3月期	1,361,790	934,432	771,885	56.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	―	52.00	―	52.00	104.00
2026年3月期	―	52.00	―		
2026年3月期（予想）				52.00	104.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日 ～ 2026年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	855,000	6.6	60,000	11.0	52,500	81.0	29,000	78.2	147.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無
詳細は、添付資料6ページ「1.経営成績等の概況　(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

(1)当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有・[無]

新規　－社　（社名）　　除外　－社　（社名）

(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・[無]

(3)会計方針の変更

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：　有・[無]

②　①以外の会計方針の変更　　：　有・[無]

(4)発行済株式数

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	206,244,872株	2025年3月期	206,244,872株
②　期末自己株式数	2026年3月期3Q	9,615,064株	2025年3月期	9,350,366株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	196,770,940株	2025年3月期3Q	196,902,562株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。
   業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しており、「構造改革費用」、「その他収益―純額―」、「法人税等」、「持分法投資損益（△利益）」は控除していません。
3. 当社は、2026年2月5日（木）に投資家向け説明会を開催する予定です。

事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

IAB：インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
HCB：ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）
SSB：ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス（社会システム事業）
DMB：デバイス&モジュールソリューションズビジネス（電子部品事業）
DSB：データソリューションビジネス（データソリューション事業）

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… P. 2

（１）当四半期の経営成績の概況 …… P. 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… P. 5
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… P. 6

２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… P. 9

（１）四半期連結貸借対照表 …… P. 9
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 11
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… P. 13
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… P. 14
（継続企業の前提に関する注記） …… P. 14
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… P. 14
（セグメント情報等の注記） …… P. 15

1. 経営成績等の概況

(1)当四半期の経営成績の概況

○全般的概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月～12月）における当社グループの業績は、前年同期比で、売上高は増収、営業利益は減益となりましたが、当社想定に対しては、売上高、営業利益ともに上回る進捗となりました。

売上高は、ヘルスケア事業において前年同期を下回ったものの、制御機器事業や電子部品事業において生成AI関連などで堅調に推移する需要を着実に捉えたことにより、全体として前年同期比で増加しました。

営業利益は、売上高が増加する一方で、原材料価格の高騰、物流コストの上昇、米国関税政策の影響などによる売上総利益率の低下や、2025年11月7日に発表した2030年度までの中期ロードマップ（SF 2nd Stage）の実現を見据えた成長投資の実行により、前年同期比で減少しました。

なお、税引前四半期純利益および当社株主に帰属する四半期純利益は、人員数・能力の最適化に伴う一時的費用を計上した前年同期に比べ、大きく増加しました。

当第3四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
売上高	5,797億円	6,143億円	＋6.0%
売上総利益 （売上総利益率）	2,617億円 (45.1%)	2,695億円 (43.9%)	＋3.0% (△1.3P)
営業利益 （営業利益率）	359億円 (6.2%)	339億円 (5.5%)	△5.7% (△0.7P)
税引前四半期純利益	160億円	265億円	＋65.5%
当社株主に帰属する四半期純利益	72億円	143億円	＋99.6%
米ドル平均レート	152.1円	148.6円	△3.5円
ユーロ平均レート	164.8円	170.6円	＋5.8円
人民元平均レート	21.1円	20.7円	△0.4円

○セグメント別の状況

IAB（制御機器事業）

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する売上高	2,660億円	2,899億円	＋9.0%
営業利益	286億円	285億円	△0.2%

＜売上高の状況＞

グローバルにおける設備投資需要は、EV関連分野は引き続き停滞したものの、生成AI関連需要は堅調に推移し、これらの投資動向を確実に捉えることができました。加えて、昨年度から継続的に進めている各エリアの顧客ニーズに対応した新商品リリースの寄与もあり、売上高は前年同期比で増加しました。

＜営業利益の状況＞

売上高が増加する一方で、将来成長に向けた先行投資を実行したことに加え、部材価格や物流コストの上昇などの影響により、営業利益は前年同期並みとなりました。

HCB（ヘルスケア事業）

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する売上高	1,112億円	1,081億円	△2.8%
営業利益	141億円	112億円	△20.5%

＜売上高の状況＞

当第3四半期（2025年10月～12月）においては、主力商品である血圧計がアジア、中南米、北米で堅調に推移しました。また、中国では消費低迷の影響を受けつつも新商品を投入したことなどにより、当第2四半期（2025年7月～9月）同様、前年同期比で増加しました。

しかしながら、当第1四半期（2025年4月～6月）における減少の影響が大きく、当第3四半期連結累計期間での売上高は前年同期比で減少しました。

＜営業利益の状況＞

当第3四半期（2025年10月～12月）においては、売上高が前年同期比で増加する一方で、米国関税政策の影響が継続し、営業利益は前年第3四半期並みの水準になりました。当第3四半期連結累計期間における営業利益については、売上高と同様に当第1四半期（2025年4月～6月）の影響が残り、前年同期比で大きく減少しました。

SSB（社会システム事業）

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する売上高	913億円	903億円	△1.2%
営業利益	56億円	58億円	＋3.8%

（注）当第3四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制変更に合わせ、従来SSBに計上していたオムロンデジタル株式会社の業績は本社機能部門として「消去調整他」へ計上します。これに伴い、当第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を新管理区分に組替えて記載しています。

＜売上高の状況＞

駅務システム事業は、顧客の設備投資需要が安定して推移しました。エネルギーソリューション事業は、エネルギー価格の高騰を背景に住宅領域における再生可能エネルギーの自家消費ニーズが継続しているものの、当第3四半期（2025年10月～12月）において、政府補助金の終了に伴い一時的に需要が停滞しました。これらの要因により、売上高は前年同期比で減少しました。

＜営業利益の状況＞

売上高は減少したものの、製造原価のコストダウンや価格適正化に取り組んだ効果により営業利益は前年同期比で増加しました。

DMB（電子部品事業）

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する売上高	782億円	869億円	＋11.2%
営業利益	2億円	21億円	―

＜売上高の状況＞

民生業界向け売上高は、生成AIを中心とした半導体関連やエネルギー関連の堅調な需要が継続したことにより、グローバルで増加しました。自動車業界向け売上高は、欧州での電気自動車（EV）優遇施策の見直しの影響を受け減少したものの、アジアの二輪需要は堅調であり、前年同期比で横ばいとなりました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

＜営業利益の状況＞

原材料価格高騰の影響を受けましたが、売上高の増加に加え、売価の適正化や製造固定費率の改善により、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

DSB（データソリューション事業）

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	2026年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する売上高	304億円	367億円	＋20.7%
営業利益	17億円	27億円	＋58.2%

（注）データソリューション事業には、JMDC社の連結子会社化に伴うのれんを除く無形資産の償却費を含めています。

＜売上高の状況＞

JMDC社における健康情報プラットフォーム「Pep Up」（ペップアップ）の発行ID数が引き続き拡大しました。健康保険組合や医療機関に由来した匿名加工データを利活用する製薬企業および保険会社などとの取引額も引き続き増加しました。これらの結果、売上高は前年同期比で大きく増加しました。

＜営業利益の状況＞

データソリューション事業創出に向けた投資を着実に実施する一方で、JMDC社の営業利益が堅調に推移したことにより、前年同期比で大きく増加しました。

(2)当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ862億円増加して、14,480億円となりました。また、負債の部は、短期債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ483億円増加して、4,757億円となりました。純資産の部は、為替換算調整額の増加などにより、前連結会計年度末に比べ379億円増加して、9,723億円となりました。株主資本比率は55.8%となっており、強固な財務基盤を維持しています。

資金の流動性については、手元現預金は1,552億円を保有しており、加えて金融機関との間で700億円のコミットメントライン契約を締結しています。また、格付機関から長期発行体格付として継続的に高格付を獲得しており、高い資金調達力とグローバルで金融機関との良好な関係を維持しながら、資金の流動性と調達力を確保していきます。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期の事業環境認識は、制御機器事業など一部事業が想定を上回り推移するものの、グループ全体では、総じて、2025年11月7日に公表の通期業績予想時点の想定通り堅調に推移すると見込みます。

制御機器事業においては、電気自動車（EV）需要は引き続き低調に推移する一方で、生成AI関連の設備投資需要が前回想定を上回って堅調に推移すると見込みます。ヘルスケア事業においては、中国での個人消費の停滞を背景に需要の弱含みを想定するものの、その他エリアにおいては堅調な市場環境が継続すると見込んでいます。社会システム事業においては再生エネルギー市場の需要や鉄道業界での投資が一時的に停滞すると見込んでいます。電子部品事業及びデータソリューション事業においては引き続き堅調な事業環境が継続すると見込みます。

当期の営業利益については、米国の関税政策の影響について売価アップなどの対応により影響額の最小化を図るものの、原材料価格の高騰や物流コスト上昇は継続する見込みです。また、将来の成長に向けた投資を期初計画通りに実行します。

このような状況を踏まえ当社グループの通期連結業績予想を、前回予想から売上高については引き上げ、営業利益については据え置きます。

税引前当期純利益については、保有する上場株式の評価替えにより前回予想から減少する見込みです。一方、当社株主に帰属する当期純利益については、前回予想のまま据え置きます。

なお、第4四半期の前提為替レートについては、1米ドル150円、1ユーロ175円、1人民元21.5円に変更します。

各事業セグメントにおける第4四半期の主な事業環境認識は以下のとおりです。

制御機器事業	総じて、前年から緩やかに回復。 電気自動車（EV）向けは引き続き低調な推移を見込むも、生成AI関連の設備投資需要は前回想定を上回って堅調に推移すると見込む。
ヘルスケア事業	血圧計市場はグローバルでは堅調に推移も、中国は前年から横ばいを見込む。
社会システム事業	再生エネルギー市場の需要や鉄道業界での投資の一時的な停滞を見込む。
電子部品事業	前回想定通り、総じて堅調な事業環境を見込む。
データソリューション事業	前回想定通り、ヘルスビッグデータ事業を中心に堅調な事業環境が継続。

○連結業績予想

	前回予想	今回修正予想 (A)	対前回予想増減 (増減率)	(ご参考) 前期実績 (2025年3月期) (B)	(ご参考) 対前期増減率 (A/B-1) ()は前期増減
売上高	8,450億円	8,550億円	＋100億円 (＋1.2%)	8,018億円	＋6.6%
営業利益	600億円	600億円	― (―)	540億円	＋11.0%
税引前当期純利益	545億円	525億円	△20億円 (△3.7%)	290億円	＋81.0%
当社株主に帰属する当期純利益	290億円	290億円	― (―)	163億円	＋78.2%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	147円40銭	147円40銭	―	82円63銭	(＋64円77銭)
米ドル平均レート	145.7円	149.0円	＋3.3円	152.6円	(△3.7円)
ユーロ平均レート	165.9円	171.7円	＋5.8円	163.7円	(＋8.0円)
人民元平均レート	20.2円	20.9円	＋0.8円	21.1円	(△0.2円)

(注) 第3四半期までの実績為替レートに第4四半期の前提為替レートを加味した通期の期中平均予想レートです。

○セグメント別業績予想 (単位：億円)

		前回予想 (組替後) (A)	今回 修正予想 (B)	対前回予想増減 (B-A) (増減率)	(ご参考) 前期実績 (2025年3月期) (組替後) (C)	(ご参考) 対前期 増減率 (B/C-1)
IAB	外部顧客に対する売上高	3,860	3,960	＋100 (＋2.6%)	3,608	＋9.8%
	営業利益	400	415	＋15 (＋3.8%)	363	＋14.4%
HCB	外部顧客に対する売上高	1,400	1,450	＋50 (＋3.6%)	1,459	△0.6%
	営業利益	145	150	＋5 (＋3.4%)	175	△14.2%
SSB	外部顧客に対する売上高	1,500	1,450	△50 (△3.3%)	1,434	＋1.1%
	営業利益	200	195	△5 (△2.5%)	153	＋27.1%
DMB	外部顧客に対する売上高	1,150	1,150	－ (－)	1,054	＋9.1%
	営業利益	40	25	△15 (△37.5%)	3	＋717.0%
DSB	外部顧客に対する売上高	510	510	－ (－)	427	＋19.3%
	営業利益	50	50	－ (－)	28	＋76.7%
消去 調整他	外部顧客に対する売上高	30	30	－ (－)	35	－
	営業利益 (△損失)	△235	△235	－ (－)	△182	－
連結	外部顧客に対する売上高	8,450	8,550	＋100 (＋1.2%)	8,018	＋6.6%
	営業利益	600	600	－ (－)	540	＋11.0%

(注) 当第3四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制変更に合わせ、従来SSBに計上していたオムロンデジタル株式会社の業績は本社機能部門として「消去調整他」へ計上します。これに伴い、当第3四半期連結累計期間及び前期実績を変更後の区分方法により組替えて記載しており、今回修正予想に反映しています。前回予想及び前期実績についても、同様に組替えて記載しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
		%		%	
(資産の部)					
流動資産	539,336	39.6	585,227	40.4	45,891
現金及び現金同等物	149,023		155,201		6,178
受取手形及び売掛金	172,967		160,605		△12,362
貸倒引当金	△1,263		△1,414		△151
棚卸資産	172,953		204,821		31,868
その他の流動資産	45,656		66,014		20,358
有形固定資産	135,077	9.9	140,922	9.7	5,845
投資その他の資産	687,377	50.5	721,860	49.9	34,483
オペレーティング・リース使用権資産	47,023		51,625		4,602
のれん	361,181		374,004		12,823
その他の無形資産	115,236		126,134		10,898
関連会社に対する投資及び貸付金	15,799		13,107		△2,692
投資有価証券	41,114		49,057		7,943
施設借用保証金	7,472		7,741		269
前払年金費用	63,578		64,469		891
繰延税金	27,503		29,789		2,286
その他の資産	8,471		5,934		△2,537
資産合計	1,361,790	100.0	1,448,009	100.0	86,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
		%		%	
(負債の部)					
流動負債	233,283	17.1	277,316	19.2	44,033
支払手形及び買掛金・未払金	91,620		107,054		15,434
短期債務	20,372		57,420		37,048
未払費用	45,270		40,355		△4,915
未払税金	6,705		6,022		△683
短期オペレーティング・リース負債	12,807		13,877		1,070
その他の流動負債	56,509		52,588		△3,921
繰延税金	16,273	1.2	15,147	1.1	△1,126
退職給付引当金	8,279	0.6	6,381	0.4	△1,898
長期債務	119,088	8.7	122,349	8.5	3,261
長期オペレーティング・リース負債	31,936	2.4	35,300	2.4	3,364
その他の固定負債	18,499	1.4	19,184	1.3	685
負債の部合計	427,358	31.4	475,677	32.9	48,319
(純資産の部)					
株主資本	771,885	56.7	808,254	55.8	36,369
資本金	64,100	4.7	64,100	4.4	－
資本剰余金	100,161	7.4	99,720	6.9	△441
利益準備金	29,471	2.2	32,288	2.2	2,817
その他の剰余金	550,485	40.4	551,781	38.1	1,296
その他の包括利益累計額	97,632	7.2	130,861	9.1	33,229
為替換算調整額	88,186		119,983		31,797
退職年金債務調整額	9,446		10,878		1,432
自己株式	△69,964	△5.2	△70,496	△4.9	△532
非支配持分	162,547	11.9	164,078	11.3	1,531
純資産の部合計	934,432	68.6	972,332	67.1	37,900
負債及び純資産合計	1,361,790	100.0	1,448,009	100.0	86,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		増減金額
	金額	百分比	金額	百分比	
		%		%	
売上高	579,698	100.0	614,288	100.0	34,590
売上原価	317,974	54.9	344,786	56.1	26,812
売上総利益	261,724	45.1	269,502	43.9	7,778
販売費及び一般管理費	193,296	33.3	197,098	32.1	3,802
試験研究開発費	32,524	5.6	38,549	6.3	6,025
営業利益	35,904	6.2	33,855	5.5	△2,049
構造改革費用	22,330	3.8	7,420	1.2	△14,910
その他収益―純額―	△2,411	△0.4	△15	△0.0	2,396
税引前四半期純利益	15,985	2.8	26,450	4.3	10,465
法人税等	6,892	1.2	8,522	1.4	1,630
持分法投資損益(△利益)	△153	△0.0	1,475	0.2	1,628
四半期純利益	9,246	1.6	16,453	2.7	7,207
非支配持分帰属損益	2,063	0.4	2,115	0.4	52
当社株主に帰属する四半期純利益	7,183	1.2	14,338	2.3	7,155

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自　2024年4月1日 至　2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年12月31日）	増減金額
	金　額	金　額	
四半期純利益	9,246	16,453	7,207
その他の包括利益 ―税効果考慮後			
為替換算調整額	9,878	32,050	22,172
退職年金債務調整額	4,226	1,432	△2,794
デリバティブ純損益	△7	―	7
その他の包括利益計	14,097	33,482	19,385
四半期包括利益	23,343	49,935	26,592
（内訳）			
非支配持分に帰属する四半期包括利益	2,164	2,368	204
当社株主に帰属する四半期包括利益	21,179	47,567	26,388

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
Ⅰ 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1.四半期純利益		9,246		16,453
2.営業活動によるキャッシュ・フローと四半期純利益の調整				
(1) 減価償却費	24,961		25,044	
(2) 持分法投資損益(△利益)	△153		1,475	
(3) 投資有価証券評価益(純額)	△719		△2,458	
(4) 受取手形及び売掛金の減少	22,378		20,496	
(5) 棚卸資産の増加	△17,205		△23,510	
(6) 支払手形及び買掛金・未払金の増加	5,858		12,297	
(7) その他(純額)	△11,478	23,642	△16,568	16,776
営業活動によるキャッシュ・フロー		32,888		33,229
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1.投資有価証券の取得		△1,761		△3,894
2.資本的支出		△34,202		△35,399
3.事業・会社の買収(現金取得額との純額)		△6,221		△8,950
4.事業・会社の売却(現金流出額との純額)		－		△2,264
5.関連会社に対する投資の増加		△2,592		△1,008
6.貸付金の回収による収入		79		1,337
7.その他(純額)		1,474		336
投資活動によるキャッシュ・フロー		△43,223		△49,842
(参考) フリーキャッシュ・フロー		△10,335		△16,613
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1.満期日が3ヶ月以内の短期債務の増加(純額)		12,200		35,250
2.満期日が3ヶ月超の短期債務による収入		1,500		1,160
3.満期日が3ヶ月超の短期債務による支出		△2,883		△1,210
4.長期債務による収入		12,708		5,745
5.長期債務による支出		△3,958		△3,611
6.自己株式取得による支出		△8		△1,320
7.親会社の支払配当金		△20,051		△20,051
8.非支配株主への支払配当金		△1,466		△1,267
9.その他(純額)		△243		313
財務活動によるキャッシュ・フロー		△2,201		15,009
Ⅳ 換算レート変動の影響		6,359		7,782
現金及び現金同等物の増減額		△6,177		6,178
期首現金及び現金同等物残高		143,086		149,023
四半期末現金及び現金同等物残高		136,909		155,201

(注) フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローに投資活動によるキャッシュ・フローを加味した金額です。

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

[オペレーティング・セグメント情報]

FASB会計基準書第280号は、企業のオペレーティング・セグメントに関する情報の開示を規定しています。オペレーティング・セグメントは、当社の最高経営意思決定者(CODM)である代表取締役社長CEOが経営資源の配分や業績評価を行うにあたり通常使用しており、財務情報が入手可能な企業の構成単位として定義されています。最高経営意思決定者(CODM)は、各セグメントに経営資源を配分するため、また、セグメントの営業成績を評価する際に計画と実績の対比を評価するために、セグメント損益を使用しています。

当社は取扱製品の性質や社内における事業の位置付け等を考慮した上で、オペレーティング・セグメントに関する情報として、IAB、HCB、SSB、DMBおよびDSBの５つのオペレーティング・セグメントを区分して開示しています。

各セグメントの主要な製品は次のとおりです。

(1) IAB: インダストリアルオートメーションビジネス(制御機器事業)
……プログラマブルコントローラ、モーションコントロール機器、センサ機器、産業用カメラ・コードリーダ機器、検査装置、セーフティ用機器、産業用ロボット等

(2) HCB: ヘルスケアビジネス(ヘルスケア事業)
……電子血圧計、ネブライザ、低周波治療器、心電計、酸素濃縮器、電子体温計、体重体組成計、歩数計・活動量計、電動歯ブラシ、マッサージャ、血糖計、動脈硬化検査装置、内臓脂肪計、遠隔患者モニタリングシステム、遠隔診療サービス等

(3) SSB: ソーシアルシステムズ・ソリューション&サービス・ビジネス(社会システム事業)
……エネルギー事業（太陽光発電、蓄電システム）、駅務システム、交通管理・道路管理システム、カード決済ソリューション、IoT（電源保護・データ保護）ソリューション、保守メンテナンス事業等

(4) DMB: デバイス&モジュールソリューションズビジネス(電子部品事業)
……リレー、スイッチ、コネクター、IoT通信モジュール、汎用センサ、アミューズメント機器用部品・ユニット、顔認識ソフトウェア、画像センシングコンポ、MEMS（注）センサ等
((注)MEMS：マイクロ・エレクトロ・メカニカル・システムズの略称)

(5) DSB: データソリューションビジネス(データソリューション事業)
……データヘルスケア事業、コーポレートヘルス事業、スマートM&S（マネジメント・サービスソリューション）事業、カーボンニュートラルソリューション事業、データ活用ソリューション事業、自立支援事業等

セグメント情報の会計方針は、米国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に従っています。

各オペレーティング・セグメントに直接関わる収益および費用は、それぞれのセグメントの業績数値に含め表示しています。特定のセグメントに直接帰属しない収益および費用は、経営者がセグメントの業績評価に用いる当社の配分方法に基づき、各オペレーティング・セグメントに配分されるかあるいは「消去調整他」に含めて表示しています。

なお、「セグメント利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除して表示しており、「構造改革費用」、「その他収益―純額―」、「法人税等」、「持分法投資損益（△利益）」は控除していません。

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自　2024年4月1日　至　2024年12月31日）　（単位：百万円）

	IAB	HCB	SSB	DMB	DSB	計	消去 調整他	連結
売上高								
①外部顧客に対する売上高	266,012	111,210	91,344	78,153	30,436	577,155	2,543	579,698
②セグメント間の内部売上高	3,469	247	5,502	27,556	271	37,045	△37,045	－
計	269,481	111,457	96,846	105,709	30,707	614,200	△34,502	579,698
材料費	34,538	45,344	26,818	43,210	624	150,534	1,416	151,950
人件費	73,339	19,809	19,848	27,450	12,536	152,982	20,330	173,312
その他営業費用	133,002	32,223	44,574	34,880	15,869	260,548	△42,016	218,532
セグメント利益	28,602	14,081	5,606	169	1,678	50,136	△14,232	35,904

（注）1　セグメント間の内部取引における価額は、外部顧客との取引価額に準じています。
2　DSBには、JMDC社の連結子会社化に伴うのれんを除く無形資産の償却費を含めています。
3　「消去調整他」には、配賦不能費用、セグメント間の内部取引消去、本社機能部門などが含まれています。
4　「その他営業費用」には、「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」に含まれる経費および「売上原価」に含まれる「材料費」、「人件費」以外の費用が含まれています。
5　当第3四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制変更に合わせ、従来SSBに計上していたオムロンデジタル株式会社の業績は本社機能部門として「消去調整他」へ計上します。これに伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を新管理区分に組替えて記載しています。

当第3四半期連結累計期間（自　2025年4月1日　至　2025年12月31日）　（単位：百万円）

	IAB	HCB	SSB	DMB	DSB	計	消去 調整他	連結
売上高								
①外部顧客に対する売上高	289,882	108,050	90,275	86,898	36,730	611,835	2,453	614,288
②セグメント間の内部売上高	4,330	78	6,380	30,745	270	41,803	△41,803	－
計	294,212	108,128	96,655	117,643	37,000	653,638	△39,350	614,288
材料費	43,188	45,648	24,961	46,479	1,044	161,320	267	161,587
人件費	74,671	18,570	20,134	27,321	14,277	154,973	19,954	174,927
その他営業費用	147,815	32,718	45,742	41,770	19,025	287,070	△43,151	243,919
セグメント利益	28,538	11,192	5,818	2,073	2,654	50,275	△16,420	33,855

（注）1　セグメント間の内部取引における価額は、外部顧客との取引価額に準じています。
2　DSBには、JMDC社の連結子会社化に伴うのれんを除く無形資産の償却費を含めています。
3　「消去調整他」には、配賦不能費用、セグメント間の内部取引消去、本社機能部門などが含まれています。
4　「その他営業費用」には、「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」に含まれる経費および「売上原価」に含まれる「材料費」、「人件費」以外の費用が含まれています。
5　当第3四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制変更に合わせ、従来SSBに計上していたオムロンデジタル株式会社の業績は本社機能部門として「消去調整他」へ計上します。これに伴い、当第3四半期連結累計期間のセグメント情報を新管理区分に組替えて記載しています。

前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間におけるセグメント利益の合計額と税引前四半期純利益との調整表は次のとおりです。

(単位：百万円)

項目	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間
セグメント利益の合計額	50,136	50,275
構造改革費用	22,330	7,420
その他収益―純額―	△2,411	△15
消去調整他	△14,232	△16,420
税引前四半期純利益	15,985	26,450